

## 復興公営住宅の今後の対応方針について（案）

平成 29 年 8 月 28 日  
 避難地域復興局 生活拠点課  
 土木部 建築住宅課

## 1 現在の取組状況

## (1) 整備状況

- ・平成 29 年 7 月末現在 3,582 戸が完成。順次、入居開始。

## (2) 募集及び入居状況

- ・一部の団地について募集を保留し(7 団地 211 戸)、その後、下北迫(広野町:28 戸)については需要が見込まれたことから保留を解除。
- ・計画戸数 4,890 戸のうち保留戸数 183 戸を除いた 4,707 戸の募集に対し、4,121 戸の入居が決定(87.6%)。
- ・空き住戸は 586 戸。この 8 割に相当する 467 戸が、いわき地区と相双地区。

## 2 今後の対応について

## (1) 保留団地の取扱い

市町村	団地	計画戸数	保留戸数	取扱い
福島市	北沢又	282 戸	60 戸	需要が見込まれることから保留解除。
いわき市	勿来酒井	180 戸	21 戸	保留継続。
	磐崎	108 戸	51 戸	今後の需要に応じて保留解除。
	平赤井	75 戸	24 戸	保留継続。
大玉村 (大玉村営)	横堀平	67 戸	8 戸	ただし、保留分は、今後の需要に応じて他地区で整備することとし、当該団地での整備は完了。
三春町 (葛尾村営)	恵下越	125 戸	19 戸	

## (2) (1) の取扱いに基づく復興公営住宅の完成時期（予定）

- ・北沢又団地は、保留を解除し整備に着手するが、完成は平成 30 年度後期になる予定。
- ・その他の団地は、今後需要が発生した場合に保留を解除するが、整備に着手した場合でも、完成は平成 30 年度以降となる見込み。
- ・このことにより、今年度末までの完成予定戸数は 4,707 戸となる。

## (3) 空き住戸の取扱い

- ・現に避難指示を受けている居住制限者を対象に募集してきたが、居住制限者のみを対象とした最終の募集を 9 月に行い、その結果、なお空き住戸がある場合は、旧居住制限者（避難指示が解除された区域の方）も募集対象に加える。
- ・旧居住制限者が応募できる団地は、9 月の募集結果を踏まえ決定するが、7 月末時点で比較的空き住戸が多い、いわき地区及び相双地区の団地を想定している。